

孤立した子ども 大人のための居場所づくり

ひのたに園 園長 齋藤誠一
(滋賀県)

※写真の掲載にあたり、ご本人の了承を得ています。

救護施設ひのたに園について



名称: 救護施設ひのたに園

場所: 滋賀県蒲生郡日野町松尾121

開設: 1970年年6月1日

定員: 100人

利用人数: 88人(2022年2月1日現在)

居室数: 4人部屋(6室)

2人部屋(27室)

1人部屋(22室)

居宅生活訓練事業(4室)

特徴

○52年前の開設当初は、重度の障害者が多数入所していたが、14年前のリーマンショック以降、派遣切りにあった方や、生活に困窮した方が入所し始め、介護度や年齢等多様な状態像の方々が暮している。

○年間約120名の利用者が入退所している。

取り組み実施の背景

- 令和元年度から施設退所者のフォローアップを中心に居住支援に取り組んでいる。
- 居住支援に取り組む中での最大の課題は、地域生活移行後の「孤立」
- 滋賀県蒲生郡日野町（人口約2万人）でも推計**100**人弱の方々が「隣近所の人付きあいがいほとんどない」と回答
 - ※「日野町地域福祉活動計画」策定時の住民アンケート結果より
- 加えて、年間数名の孤独死が発生している。

事業計画

支援拠点「つどえば」を整備し、以下の事業を実施

- 内職作業
- 地域就労支援
- 芸術活動
- 子ども食堂
- ボランティア交流
- 関係機関との連携による事業実施

「救護施設先駆的シェア事業」の助成金を活用し、賃貸物件のバリアフリー化を実施。

救護施設が持つ支援ノウハウを地域に開くことで、地域共生社会の実現に寄与する

準備の状況（物件の確保と改修）

- 令和**4**年**2**月頃から物件の情報を収集
- 条件（家賃**7**万円以内、施設から徒歩圏内、事業実施が可能な広さ）を兼ね備えた物件のオーナーと協議開始
- 令和**4**年**9**月 賃貸契約締結（家賃**5**万円、施設からの距離**1.4**キロ、延べ床面積**243**m²）
- ランニングコストは安価だが、下水道工事から必要な物件
- 下水道工事、多目的トイレの設置、システムキッチンの設置



確保物件の外観

準備の状況（地域調整）

- 物件賃借にあたっては、オーナーさんを通して近隣に居住するみなさんにはご挨拶していた。
- 令和4年11月 自治会組長さんへの事業説明を正式にオーナーさんで行う。
- 令和4年12月 自治会役員（区の会計さん）から連絡をいただき、会費などについて説明を受ける
- 令和5年1月 組8軒の会合時に改めて事業説明を行ったところ、駐車場の確保についてアドバイスを受ける。
- 令和5年2月 駐車場の契約を行うが、土地の境界について近隣住民へ改めて説明と挨拶を行った。

実施状況 内職作業 平日毎日



部材保護のためパンチカーペットを敷く



作業の様子

実施状況

地域就労支援 平日毎日



特別養護老人ホーム
でのトイレ掃除



農機具の洗浄



田んぼの畔の草刈り

実施状況
芸術活動

月2回程度開催



今後の展望

- 今後実施予定の子ども食堂等については、4月以降に順次開始予定です。
- 空きスペースをさらに改修し、作品展示や物品販売ができる場所とし、新たな仕事を生み出します。
- 対象者を限定しない救護施設の強みを活かして、だれもが集える居場所づくりのノウハウを積み上げていきます。
- 滋賀県健康福祉政策課とも連携し、他地域への普及も目指していきます。

→救護施設の機能を地域に開くことで、地域共生社会の実現に貢献します。